

1.7 3学期始業式 校長講話

令和4年が始まりました。
今年もよろしくお願いいたします。

2学期の終業式で、みなさんの学校評価から伸びている点をお伝えしました。
今日は、ふり返りについてふれたいと思います。

みなさんは、PDCAサイクルという言葉聞いたことがあるでしょうか。
これは、デミング博士という人が提唱した、生産技術における品質管理などを継続的に改善していく手法です。
これを教育の世界にも取り入れようとした考えが広まっていました。
ところが、最近では、PDSAサイクルの方が重要視されてきています。
それは、もともとPDCAサイクルを考えた人が、PDCAの「C」に問題があることを感じ始めました。「C」の“Check”という表現は、あくまでミスを防ぐことに重点が置かれた表現です。
この考えだけでは、受け身の姿勢になりがちで、創造性や、積極性が発揮されにくいという短所があると考えたのです。
そこで、1993年にデミング博士は“Check”を“Study”に修正し「研究・調査」という概念を取り入れ、PDCAサイクルを、PDSAサイクルと再定義したのです。
PDSAサイクルは具体的には以下の4ステップで行います。



- | |
|----------------|
| ①Plan (計画) |
| ②Do (実行) |
| ③Study (研究・調査) |
| ④Act (改善) |

従来のPDCAサイクルでは、失敗したときのみ改善策を考えるという構造になっていました。
Check(評価)をStudy(研究・調査)にしたことで、成功しても、失敗しても、そこから何かを学び、改善することができるようになったといえます。

このStudy(研究・調査)は、ふり返りのことです。
みなさんにもすぐにできます。テスト勉強や部活動の目標のことで考えてみましょう。
何かやりたいことを計画して、実行する。
実行した時に、①計画通りにできたか ②自分は何をしたのか ③学びになったことは何かをふり返ります。
この時に、できたかできなかったかだけでなく、自分が学習できたことを明確にしていくことが重要です。

そして、自分の目標に向かって計画を改善して、また実行し、ふり返るというサイクルを回し続けるのです。

新しい年を迎え、新しい自分の目標を考えてみましょう。

計画し、実行し、ふり返り、改善につなげ、自分のなりたい自分に近づいていきましょう。

3学期は、47日間です。

この短い学期は、みなさんが次のステップに進むための準備期間です。これまでのふり返りをして、次に進んでいきましょう。

①計画通りにできたか ②自分は何をしたのか ③学びになったことは何か についてふり返って、次につなげていきましょう。

1年生は2年生・「先輩」に、2年生は3年生・「最上級生」に、そして3年生は卒業・「新しい生活」に進む準備の時間です。

それは、自分の責任において進めないといけません。成功のためにはいい準備が必要です。

仲間と一緒にいい準備を進めましょう。

新中学校開校に向けて、全校のみなさんにお願ひがあります。

今、令和5年4月の新中学校開校に向けて、校歌をつくろうとしています。

その校歌について、みなさんの意見をお聞きしたいと思ひます。

新しい中学校の校歌のイメージはどんなものか。

新しい中学校の校歌に入れてほしい言葉はどんなものか。

ということです。

そして、校歌の形式などを考えます。

第一中学校のみなさんと合わせて、新中学校の校歌のコンセプト（新中学校の校歌に対する基本的な考え方）をつくります。

そのコンセプトを、作詞家の方や作曲家の方にお伝えして、作っていただくことになっています。

全員の意見が必ずしも反映されるとは限りませんが、みなさんの意見を基にして、

新中学校の校歌のコンセプトを作りたいと思ひます。後日アンケートとい形で意見をお聞きします。

よろしくお願ひします。

終わります。